

薬剤師の キャリア形成を 応援します

在宅医療に秀でた
薬剤師を養成します



2025年度
大阪医科薬科大学薬学部
「薬剤師キャリア形成プログラム」
履修証明プログラム



Brush up Program
for professional



大学発

医療・
介護

文部科学大臣認定

職業実践力育成プログラム(BP)

目次

履修証明制度およびBPの説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 2
「薬剤師キャリア形成プログラム」の特徴・・・・・・・・・・	P. 3
各プログラムの紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 4
受講生募集要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 6
受講申込書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 7

履修証明制度とは

履修証明プログラムとは、学校教育法第105条及び学校教育法施行規則第164条の規定に基づき、大学のより積極的な社会貢献を促進するため、主に社会人等を対象とした一定のまとまりのある学習プログラムを開設し、その修了者に対して学校教育法に基づく「履修証明書」(Certificate)を交付するものです。[\(https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shoumei/\)](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shoumei/)

「履修証明書」は現在政府が推進している「ジョブ・カード制度」においても「職業能力証明書(ジョブ・カード・コア)」として位置付けられており、今後、自身のキャリアアップやキャリアプランに有効に活用できます。

文部科学大臣認定「職業実践力育成プログラム(BP)」とは

大学、大学院、短期大学及び高等専門学校(以下、「大学等」)の正規の課程と履修証明プログラムで、主に社会人を対象とした実践的・専門的な課程を「職業実践力育成プログラム(BP)」※として文部科学大臣が認定しています。https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/bp/index.htm

主に実務家教員による授業やグループ討論等の科目で構成されており、実践的・専門的な授業を受けられます。平成27年度に制度が創設され、毎年新たなプログラムが認定されています。

※ 正規課程と60時間以上の体系的な教育カリキュラムで構成される履修証明プログラムが対象。

BP: Brush up Program for professional



Brush up Program
for professional

教育訓練給付制度

本プログラムは、厚生労働省が実施する教育訓練給付制度に応募予定です。

「薬剤師キャリア形成プログラム」について。

厚生労働省の「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会」が公表した「とりまとめ」（令和3年6月 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_19562.html）において、「薬剤師の教育は、大学卒業・免許取得で完結するものではなく、卒後の生涯研修が不可欠である。」「薬剤師をとりまく様々な変化に対応するためには、常に自己研鑽に努めて専門性を高めていく対応が必要となる。」と提言されています。

地域医療構想において、良質かつ適切な医療を効率的に提供できる体制を確保するため、病床再編等、医療機関の機能分化・連携が進められるなど、医療提供環境は変革の時期を迎えています。また、医療・福祉・介護を地域で支える地域包括ケアシステムが構築されており、薬剤師は病院・薬局を問わず自身の置かれた立場において医療専門職として貢献することが求められています。

本プログラムは、今後の活躍が期待される薬剤師の育成を目的に、在宅医療に秀でた薬剤師の養成を目指します。本プログラムの履修修了者には、履修証明書を交付します。

トピックス

令和6年度、本学の「薬剤師キャリア形成プログラム」が文部科学省の職業実践力育成プログラム（BPプログラム）として文部科学大臣の認定を得ました。

詳しくはこちら

令和6年度「職業実践力育成プログラム」（BP）の認定について
（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/bp/1411849_00007.htm



プログラム概要

本プログラムは、本学薬学部生涯学習センターの講座を基盤とし、大学院の授業を組み合わせたプログラムとなっています。今後の在宅医療では医療機関との機能分化・連携が推進されると見込まれることから、地域包括ケアで求められるフィジカルアセスメントや無菌調製、認知症や褥瘡への対応能力を身につけます。また、漢方医学の基礎を学修し、セルフメディケーションの支援能力を身につけます。さらに、医薬品の適正使用、医療倫理、最新の薬物治療・診療技術に関する情報などについても学修します。

カリキュラム

履修

履修期間：2年

履修時間：60時間以上

各講座の受講により「生涯研修認定制度」の単位も取得が可能です（一部の講座を除く）。取得した単位は、認定薬剤師の申請時にも利用可能です。

受講形式

スキルアップ講座：対面（実技）

漢方基礎講座：オンデマンド

先端医療講座：対面あるいはWEB

医療評価薬学：対面あるいはオンデマンド

医療薬学総論：対面あるいはオンデマンド

■スキルアップ講座【必修】（合計26.5時間、双方向、ワークショップ）

第1回～第3回（後期 土曜日開催）、第4回～第10回（日曜日開催） 場所：薬学部（奈佐原キャンパス）
臨床で活躍する薬剤師に求められる知識・技能の向上、ならびにチーム医療における薬学的管理に必要な評価能力、判断力、実践力を涵養します。さらに、在宅医療に従事する薬剤師に求められる各種技能を修得します。

日	授業内容	時間 (時間)	単位※	担当教員
11月15日（土）☆	臨床評価演習（地域社会における医療・福祉・介護1）	1.5	—	中村 敏明 大阪医科薬科大学薬学部
11月22日（土）☆	臨床評価演習（地域社会における医療・福祉・介護2）	1.5	—	角山 香織 大阪医科薬科大学薬学部
11月29日（土）☆	超高齢社会における臨床評価	1.5	—	中村 敏明 大阪医科薬科大学薬学部
5月18日（日）	褥瘡治療実技セミナー	4	2	古田 勝経 愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター
6月 8 日（日）	フィジカルアセスメントセミナー（ベーシック）	3	2	森 龍彦 大阪医科薬科大学薬学部
8月31日（日）	無菌調製実技セミナー	4	2	矢野 良一 大阪医科薬科大学薬学部
9月28日（日）	認知症サポーター養成講座	2	1	龍元 志保 阿武山地域包括支援センター
10月19日（日）	フィジカルアセスメントセミナー（アドバンスト）	3	2	森 龍彦 大阪医科薬科大学薬学部
11月30日（日）	オーラルケアと健康	3	2	中村 敏明 大阪医科薬科大学薬学部
2026年 1月25日（日）	生命医療倫理セミナー	3	1	阪本 恭子 大阪医科薬科大学薬学部

☆ 教員の都合で変更になる可能性があります

※ 認定薬剤師の研修単位

■漢方基礎講座【必修】（各回1時間、合計10時間 オンデマンド受講）

この講座では、勉強しても漢方薬がよく分からないと思っている薬剤師の先生方に対して、可能な限り簡便な言葉や考え方で解説します。さらに、薬学の立場から漢方薬を構成している個々の生薬の薬能（経験的効能・効果）について理解を深め、各漢方薬の特徴をイメージ出来るように解説します。

回	授業内容	時間 (時間)	単位※	担当教員
第1回	「陰陽論の捉え方(概論)」	1	0.5	芝野 真喜雄 大阪医科薬科大学 薬学部
第2回	「五臓の捉え方(概論)」	1	0.5	
第3回	「カゼに用いる漢方薬」	1	0.5	
第4回	「水に作用する漢方薬の考え方(利水, 滋陰)」	1	0.5	
第5回	「血に作用する漢方薬の考え方(補血, 駆瘀血)」	1	0.5	
第6回	「氣に作用する漢方薬の考え方1(補氣)」	1	0.5	
第7回	「氣に作用する漢方薬の考え方2(理氣)」	1	0.5	
第8回	「身体を冷やして治療する漢方薬(清熱)」	1	0.5	
第9回	「身体を温めて治療する漢方薬(温裏)」	1	0.5	
第10回	「精神科領域で用いられる漢方薬(五臓:心、肝)」	1	0.5	

■ 先端医療講座 【必修】（各回3時間、合計9時間、対面またはWEB受講）

日曜日開催 場所：グランフロント大阪 ナレッジキャピタルカンファレンスルーム

疾患ごとの病態と薬物治療や患者サポートなどについて、専門の医師と薬剤師の講演によって学びます。医師と薬剤師の双方から学ぶことで、疾患を多面的に深く理解するとともに、最新の治療を理解することを目的とします。

回	講演タイトル	時間 (時間)	単位※	講師
第1回 5月11日 (日)	「パーキンソン病の病態と最新治療」	1.5	2	慶應義塾大学病院 パーキンソン病研究センター センター長 関 守信 先生
	「パーキンソン病患者に薬剤師として関わってみよう」	1.5		JA 愛知厚生連安城更生病院 薬剤部 山本 恭平 先生
第2回 8月3日 (日)	「国際人道支援における薬剤師の役割」	1.5	2	福岡大学薬学部 救急・災害医療薬学研究室 教授 江川 孝 先生
	「大規模災害時の薬事課題と薬剤師の役割」	1.5		(株)ケイ・クリエイト 代表取締役社長 災害薬事コーディネーター 金田 崇文 先生
第3回 10月26日 (日)	「女性の健康支援における医師と薬剤師の連携」	1.5	2	淀川キリスト教病院(産婦人科専門医、周産期母体・胎児専門医) 医長 柴田 綾子 先生
	「女性の健康支援、地域の生活者へ薬剤師が伝えること」	1.5		TAYA研究会 代表 あおぞら薬局富士見店 管理薬剤師 中村 由喜 先生

※ 認定薬剤師の研修単位

■ 医療評価薬学 【必修】（合計12時間、対面あるいはオンデマンド）

全回（木曜日開催） 場所：薬学部（奈佐原キャンパス）

日本や諸外国における医療制度及び薬事政策、医療技術評価、医薬品の臨床評価、医薬品に係るリスク管理のフレームワークについて、実務家教員が概説します。

日 ☆	授業内容	時間 (時間)	担当教員
10月2日(木)	行政薬学1	1.5	恩田 光子 大阪医科薬科大学薬学部
10月9日(木)	行政薬学2	1.5	
10月16日(木)	医療技術評価1	1.5	
10月23日(木)	医療技術評価2	1.5	
10月30日(木)	医薬品の臨床評価1	1.5	中村 敏明 大阪医科薬科大学薬学部
11月6日(木)	医薬品の臨床評価2	1.5	
11月13日(木)	医薬品のリスク管理1	1.5	矢野 良一 大阪医科薬科大学薬学部
11月20日(木)	医薬品のリスク管理2	1.5	

☆ 教員の都合で変更になる可能性があります

■ 医療薬学総論 【自由選択】（合計12時間、対面あるいはオンデマンド）

全回（土曜日開催） 場所：薬学部（奈佐原キャンパス）

医療薬学、薬学臨床および生物・予防薬学等の領域において必要とされる知識を修得し、各領域の連関を理解することを目的に最新の情報を提供するとともに、薬物専門家としてのプロフェッショナルリズム教育を学びます。

日☆	授業内容	時間 (時間)	担当教員
5月24日(土)	医薬品情報	1.5	中村 任 大阪医科薬科大学薬学部
5月31日(土)	医療リスクマネジメント	1.5	中村 敏明 大阪医科薬科大学薬学部
6月 7 日(土)	医療評価薬学概論	1.5	恩田 光子 大阪医科薬科大学薬学部
6月14日(土)	病態薬理学概論	1.5	大喜多 守 大阪医科薬科大学薬学部
6月21日(土)	感染制御概論	1.5	駒野 淳 大阪医科薬科大学薬学部
6月28日(土)	核酸医薬概論	1.5	浦田 秀仁 大阪医科薬科大学薬学部
7月 5 日(土)	医薬品体内動態(2)	1.5	永井 純也 大阪医科薬科大学薬学部
7月12日(土)	医薬品体内動態(1)	1.5	戸塚 裕一 大阪医科薬科大学薬学部

☆ 教員の都合で変更になる可能性があります

[申込期間]

2025年4月1日（火）以降随時

[募集要項]

募集人数	10名
応募要件	実施目的を理解し、以下の条件を満たす者 ① 本学大学院学則第17条及び本学大学院薬学研究科規程第4条に規定する本学への入学受験資格を有する者 ② 日本国の薬剤師免許を取得している者 ③ 心身ともに健全で、研修を受講し得ると判断できる者 ④ インターネットを使用できる環境がある者 ⑤ zoom等のインターネットを使ったソフトウェアの基本操作ができる者 ⑥ 連絡用のメールを受信できる者
受講料	3万円（2年間）
受講申込	受付期間内に履修申請書※を「書留速達郵便」で郵送するか、本学教務課窓口を持参してください。書類審査による選考を実施し、履修可否を4月中に通知します。 ※ BP公式WEBページからダウンロードできます 【申請書の送付先】 〒569-1094 大阪府高槻市奈佐原4-20-1 大阪医科薬科大学 薬学生涯学習センター 宛



BP公式WEBページ

2025年度「薬剤師キャリア形成プログラム」受講申込書

フリガナ				写真貼付欄 たて4 cm、よこ3 cm 申請前3か月以内に撮影した無帽正面向、上半身のもの。 写真の裏面に氏名を記入し。全面のり付けしてください。
氏名	男・女			
生年月日	西暦 (和暦 昭和・平成	年 年)	月 日 (歳) 西暦、和暦両方記載してください。	
現住所	〒 (—)			
連絡先	(固定電話・携帯電話) — —			
	 (e-mail) @			

※年号はすべて西暦で記入してください。

学 歴				
年	月	高等学校卒業		
年	月			
年	月			
年	月			
年	月			
年	月			
職 歴				
自	年	月	年	ヵ月勤務
至	年	月	年	ヵ月勤務
自	年	月	年	ヵ月勤務
至	年	月	年	ヵ月勤務
自	年	月	年	ヵ月勤務
至	年	月	年	ヵ月勤務
薬剤師 免許証番号		年 月 (免許番号)		

- 申込上の留意事項
- 申込書類が不備の場合には、選考対象としません。
 - 申込書類に虚偽があった場合は、受講後であっても受講資格を取り消します。
 - いったん提出された書類および納入された受講料は、いかなる理由があっても返還いたしません。



大阪医科薬科大学 薬学生涯学習センター
 〈受付時間：平日9:00-17:00〉
 〒569-1094 大阪府高槻市奈佐原4-20-1
 TEL：072-690-1101(薬学部教務課)
 FAX：072-690-1105
 E-mail：p-omplec@ompu.ac.jp

